

広報

いちき 串木野

愛が いっぱいのまち

Ichikikushikino City
Public Relations



いちき串木野
明治維新
150周年



2017年12月20日発行

VOL.146

12
2017



スマホで見られる広報紙

マチイロ



一本の木から始まったミカン人生60年 ミカン農家 西中間 勉さん

「ポンカンの風味そのままに甘みが強く最高級のポンカンだよ」と胸をはる西中間勉さん。

12月上旬、市来の大里にあるビニールハウスで「テクノスーパーポンカン」の収穫に夫婦でいそしみます。

このちょっとかっこいい商品名のポンカンは、早生系の大田ポンカンという品種をボイラーで加温して栽培したもの。樹上で完熟するのが特徴で、市場での人気は高いものの、栽培が難しく、現在日本で栽培しているのは西中間さんだけとも言われています。

西中間さんは中学校卒業と同時に農業の世界に飛び込みました。当時、家は酪農を営んでいましたが、近くのビニールハウスで栽培されたトマトが高値で取引されていたのを見て農業に魅力を感じたのがきっかけです。

そして、クワとスコップで自ら開墾した土地に、最初に一本

ミカンの木を植えます。今から60年前のことです。

自ら選んだミカン農家の道でしたが、同級生は進学して高校生。西中間さんは「一番つらかった時期」と苦笑します。

西中間さんがビニールハウス栽培に乗り出したのは今から約40年前。ハウスポンカンを食べる機会があり、食べたらとてもおいしく、西中間さんもハウスポンカンに取り組むことを決めます。1年目の収穫はよかったものの、翌年は果実に病気が入り売り物にならない憂き目にもあいます。試行錯誤しながら10年程栽培を続けましたが味が納得いくものが出来ず「この品種はハウス栽培には向いていない」と、思い切って現在の大田ポンカンに切り替えました。

当時はまだ、質よりも生産量が求められていた時代。それまでの品種で十分な収穫量はありましたが、それを捨てて品種を

変える大きな決断にも「自分で食べてみておいしいと思えるものしか売らない」と迷いはありませんでした。

現在では100アールのビニールハウスでポンカン、デコポン、温州ミカン、マンゴーなどを栽培し、県内で有数のハウス栽培のミカン農家になった西中間さん。ミカン栽培に取り組んできた60年を「自分の周りに優れた手本となる人たちがたくさんいた」と感謝し、「とにかくいいものを作ろうとそれだけに力を注いできた」と振り返ります。

今はポンカンの収穫が忙しい時期。「『おいしかったよ』と聞くともた美味いものを作ろうという気持ちになるよ」と、笑顔を見せました。

最初に植えた一本の木はもうありませんが、今でも西中間さんの心とともにあります。



褒められて伸びる子のコラム

vol.20 今月のコラムニスト 高嶋直輝

ickkskn2016

検索



思わず笑った看板。
たつの市ならではの「そうめん＆コーヒー」

先日、僕の地元である兵庫県たつの市に行ってきました。

高校を卒業するまで18年間を過ごした町。当時の僕は地元に興味が無くて、就職と同時に地元を離れました。たまに地元に戻っても、よく行くお店で買い物をするくらい。そんな感じだったので、

地元を離れてから約10年の間に起きた「変化」に全く気づかず、「地元のことを知らない」ままでした。

今回、たつの市のまちづくりに取り組んでいる会社に案内してもらい、色んな所を見てきました。僕の地元は今、「ものすごいスピード」で変化しています。

たつの市には「龍野城」というお城があり、その周辺の城下町には当時の面影を残した建物がたくさんあります。その城下町では最近、約3～4か月に1店舗のペースで新しいお店がオープンしています。でも決して、「劇的な変化」ではありません。城下町の景観を壊さない「これまでの歴史や文化をしっかりと継承した変化」なんです。「たつの市という町をどうしたいのか？」というビジョンがしっかりと定まっているからこそできるまちづくりが進んでいます。これって、すごいことだと思うんです。

僕はたつの市のことを「何もないところ」と思っていました。でもそんなことはなかったです。たつの市の特産品と言えば「手延べそうめん 揖保乃糸」。また、たつの市は「うすくち醤油発祥の地」であり、醤油会社が8社もあります。この前初めて知りました。

28年経っても、まだ地元の知らないことがたくさんありました。だからきっと、いちき串木野市にも地元の方だって知らない、気づいていない魅力がたくさんあると思います。

これまで地元に関心のなかった僕ですが、地域おこし協力隊という仕事を始めて、地域について考えるようになり、あらためて地元を見てみると違った思いが出てきました。今まで地元に戻りたいかと思ったことなかったんですけど、初めて「帰りたい」「まちが変わっていく姿を近くで見たい」と思うようになりました。

ずっと同じ町に居続けると、こういう思いってなかなか出てこないと思いますが、僕の思いとしては、やっぱりいちき串木野市のみなさんに地元のことを好きになってもらいたいと思うんです。そのための活動をこれからもやっていきたいです。



Ichksgram



misaki_kameoka

...

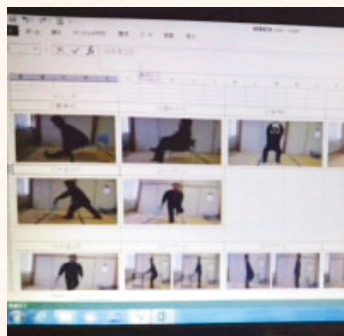


頑張る女性を応援する
団体Fem Styleを立ち
上げました〜♡よろし
くお願いします☆
(亀岡美咲)



hanadanaolo

...



地域健康プランナー、
トレーニングメニュー
作成中です。
(花田直樹)



gacky0809

...



先日の冠岳地区での「町
づくり」で発表、また
現在、野平地区でも参
加しております。今後
もぜひエリアを広げて
いきたいです。
(板垣勝)



fmkz

...



ALDINさんのエプロン
いい感じにシワが出て
来ました。(小林)
#ALDIN #エプロン
#リネン #山梨
(小林史和)

まちの話題

認知症の理解が深まることに願い込めて タスキ繋ぐRUN伴+ (ランともプラス) 2017



認知症になっても安心して暮せる地域づくりを目指して、たすきをつないで日本縦断するプロジェクト「RUN伴+」が本市でも11月19日に開催されました。

まちなかサロンから上名交流センターまで約5キロのコースを、認知症の人や家族、支援者、一般の人がテーマカラーのオレンジ色のTシャツを身につけ、たすきをつなぎました。

市内で「認知症の人と家族の会」を立ち上げた通山咲子さんもランナーとして参加。「介護の問題は高齢者の問題と思わず、若い人にも関心を持ってもらいたい」との思いを込め、タスキを次のランナーに手渡しました。

また、ゴール地点となった上名交流センターではいちき串木野ORANGEマルシェが開催され、ライブなどでイベントを盛り上げました。

クイズ 知っちゃっけ？

問い：近年人気が出てきている本市の特産品に「本格貯蔵薩州薩摩」とよばれるものがあります。さて、これは何でしょうか？

- ①焼酎
- ②ポンカン
- ③さつま揚げ

ヒント コタツでほっこりと味わいたいものです。

答えはこの広報紙のどこかにあります。



秋の収穫祭子ども達も大地の恵みに感謝



もみ殻と餅の入ったフラットを田にお供えする

舟川後棚田保全会は、11月18日、収穫祭を開き、市内各地から参加した子ども達など30名は、餅つきに挑戦したり、収穫した米で作ったおにぎりを頬張ったりして楽しみました。

また、会場には各農家にある田の神様が並べられたほか、地区に伝わる収穫に感謝する行事も久しぶりに行われました。藁苞と呼ばれるフラットを束ねた中に、もみ殻と餅を入れ、木の枝にくくりつけたものを田んぼにお供えし、収穫に感謝するもので、子ども達は興味深そうにその説明を地元の人から聞いていました。また、れんげの種も皆でまき、春の訪れが楽しみになりました。

人を笑顔に。高校生レストラン賑わう



神村学園の調理コースとパティシエコースの生徒が、地元食材で作った松花堂弁当を販売する「高校生レストラン」を11月18日、同学園の調理実習室で開きました。生徒は、注文を受けるとミートローフやマグロの刺身など6品を、彩りも鮮やかに盛り付け、配膳まで行います。この日は弁当に汁物やお菓子のお土産もついて600円と地域への感謝の気持ちを込めた破格のお値段ということもあり、多くの人が列を作りました。

3年生の原田怜奈さんは「弁当のフタを開けた時、お客さんが感動してくれるのがうれしい。食に関わる仕事は人を笑顔にできる仕事と改めて実感した」と楽しそうに働いていました。

キバレ神村学園 5つの部が全国へ！



神村学園高等部は、男子サッカー部や吹奏楽部など5つの部が12月から1月にかけて行われる全国大会に出場します。

12月11日市民文化センターと神村学園で壮行会があり、市民文化センターには市民など200名が訪れ選手を激励しました。

選手を代表して男子サッカー部の高橋大悟君が、「支えてくれる人への感謝を忘れず頑張ってきます」と述べると会場から大きな拍手が送られました。

会場に駆け付けた入枝元さん（日出町）は、よく神村学園の部活の練習を見学するそうで、「挨拶もよくしてくれるし若い人たちの一生懸命な姿を見ると自分も頑張らなければと元気をもらっている。皆頑張ってきてほしい」とエールを送りました。ぜひ頂点を目指して頑張ってきてください。



テレビで応援しよう！

男子サッカー部・女子駅伝部はテレビ中継があります。（女子サッカーは決勝戦が放映される予定。それ以外はネットで配信される場合があります。）

- **男子サッカー部** 第96回全国高校サッカー選手権大会 初戦(VS秋田商)12/31(日)14:10キックオフ(KYTで放送)
- **女子サッカー部** 第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 初戦(VS北海道明清)12/30(土)13:45キックオフ(決勝はMBCで放送予定)
- **女子駅伝部** 女子第29回全国高等学校駅伝競走大会 12/24(日) 10:20スタート (NHK総合で放送)
- **ダンス部** H30/1/6(土)・7(日)開催 全国高等学校ダンスドリル冬季大会ウィンターカップ2018
- **吹奏楽部** 12/16(土)・17(日)開催 第45回マーチングバンド全国大会

勝利のトンカツ振る舞う

トンカツを提供する味工房みそので、11月27日男子サッカー部の部員にロースカツ定食60食が振る舞われました。振る舞った勘場明会長は「県代表として、存分にトンカツを食べていい成績を残してきてほしい」と選手を激励しました。



ネットで困ったらまず相談！ ネット問題について考えよう



市来小学校で11月14日、インターネットやスマートフォンと賢く付き合うにはどんなことに気をつければよいか学ぶ授業がありました。授業にはネットトラブルやLINEなどSNSに詳しい鹿児島大学の学生二人が授業に先生として加わり、「トラブルにあった時は恥ずかしがらずに親や友人など身近な人に相談して」と呼びかけました。

学生が事前に実施したアンケートによると、中学生になると、ネットでトラブルがあっても他人に相談しにくいという結果が出ているそうで、「小学生の早めの時期から相談できるようになってほしい」と、ボランティアで県内16校を回り、啓発に努めているとのことでした。



かんむりだけ山市物産展 開催



11月23日、かんむりだけ山市が開催され、約1万5千人が訪れました。物産展では地元特産品を買い求める人で賑わい、ステージではほら貝を吹く、「大法螺吹きコンテスト」などが行われました。今年も、長崎からは龍(じゃ)踊りの一行が訪れ、爆竹が鳴る中、龍踊りを披露しました。

また、冠嶽山柴橙護摩実行委員会が行う柴橙護摩供養も行われました。護摩供養では、来場者が願いを書いた木札と一緒に燃やして祈願します。実行委員会は「地域の自然環境整備のために使ってほしい」と、木札の売上を市に寄付くださいました。ありがとうございました。

わいわいと地区の困り事話し合おう



農地や水路の保全活動を共同で行う市内28の保全会で構成される市広域協定運営委員会では、地域資源保全管理構想づくりについて話し合うきっかけにしようと、11月16日、ワークショップが行われました。

ワークショップでは「発言は2分以内」や「相手の発言を否定しない」といったいくつかのルールにしたがって普段の活動の困り事を付箋紙に書き出して班ごとに発表し、お互い感想を述べあいました。

委員のほとんどはこうした形の話し合いは初めてだったようですが、活発に話し合う姿が見られ、各組織の共通の困り事である草刈りについて「共同で草刈り用の機械を購入しては」との意見も出、皆で集まり話し合うことの大切さを参加者は確認する機会となりました。

羽島青年文化祭 パロディに会場沸く



12月3日、羽島に縁のある青年達でつくる羽島青年学級は34回目となる羽島青年文化祭を開催しました。

青年学級生の劇では、「ツルの恩返し」のパロディで、「ツル」と思って助けた鳥が「サギ」だったために、だまされて痛い目にあい笑いを誘ったり、また、家族や高齢化社会をテーマにした劇も上演され、観客の涙を誘っていました。

文化祭では他にも子ども達のマーチングバンドや婦人部の踊りなども披露され、訪れた地域住民など200名が楽しみました。

薩摩藩英国留学生記念館コンサート 鹿児島から見た明治維新～150年の時を経て～



11月26日、全国で活躍中の本市出身のフルート奏者中夷雲母さんと俳優の萬造寺竜希さんの演奏会が薩摩藩英国留学生記念館で開催されました。

美しいフルートの音色と目の前で披露される迫力ある演奏と朗読に観客は圧倒されたようで、大きな拍手を送っていました。

このように全国で活躍する本市出身の若いアーティストたちが、薩摩スチューデントが旅立った地に凱旋し、演奏・演舞したことは、薩摩スチューデントが英国から帰国後、各方面で活躍したことに重なり、郷土の誇りと感じた観客も多かったようです。

南美展24日まで薩摩金山蔵で開催



南日本美術展の選抜巡回展が、12月24日まで薩摩金山蔵で開催されています。最高賞の南日本新聞社賞や海老原賞、また、海童賞など上位賞に選ばれた作品ほか、入選した地元作家4名の作品を含む25点の絵画や立体作品が今月24日まで展示されています。

4回目の入選となった下夷憲一さん（港町）は、絵画で自身の体の中の細胞が動いている様子を鮮やかな色彩で表現。「地元で展示してもらえるのはうれしい」と喜びを語りました。

●第72回南日本美術展選抜巡回展

12月2日～24日（火曜日定休）

薩摩金山蔵 ☎21-2110

「いちき駅前夢クラブ」 元気高齢者の取組を県で発表



10月30日
鹿児島県庁
であった「県
シニア元気
いきいき推
進会議」で、
高齢者の健
康づくりで
先進的な取
組みをする4団体に「いちき駅前夢クラブ」が選ばれ、世話役の福元望さん（駅前）が、「ころばん体操」を核にした集いの場づくりについて発表しました。

「ころばん体操」は、公民館が毎週開催する高齢者の介護予防のための楽しい筋力トレーニングです。同クラブでは、このころばん体操を手始めとして、美化活動やレクリエーションまで活動範囲が広がったり、公民館にソフトボールチームができたりしています。

この会議の意見は取りまとめられ、県知事に提言書として提出される予定です。

クリスマスイルミネーションに歌声響く



12月3日、照島地区のなぎさ公園に今年もイルミネーション「てるしまの灯り」が点灯しました。まちづくり協議会が地域の協力を得て開催しているものです。

点灯式では、照島小学校の音楽部が、「聖しこの夜」や「瑠璃色の地球」など4曲を披露。澄んだ歌声が辺りに響きました。歌った前原彩葉さんや田代苺楓さん達は「思いを込めて遠くに届くように歌った。イルミネーションを色々な人に見に来てほしい」と話しました。

イルミネーションは1月10日までで、平日は18：00～21：00、土日は18：00～22：00、12月31日はオールナイトで点灯します。

女性消防団員全国で地域防災力強化を訴える



11月広島市で、全国から3,000人を越える女性消防団員が参加し開催された全国女性消防団員活性化大会で、本市の女性消防団員が一丸となって取り組んだ活動事例が、全国優良活動事例の5枠に選ばれました。

「女性が輝く消防団員活動」と題した活動事例は、かつてまぐろ船に男が乗り、家や地域を女性が守らざるを得なかった歴史にも触れ、女性の目線から見た地域防災力強化について報告しています。会場では照島分団の宮里利香さんがこの活動事例を発表し、大きな拍手を送られました。

この活動事例は1月7日市民文化センターで行われる出初式でも発表されます。



町勢発展に尽力 叙勲受章



前田義則さん（内門）が旭日単光章を受章しました。

前田さんは昭和46年4月から4期16年の長きにわたり、市来町議会議員として、この間、総務委員会委員長や教育民生委員会委員長などを歴任し、町勢の発展に貢献しました。

また、自治公民館長なども務め、地域の自治活動にも尽力しました。

前田さんは「受章できたのは、これまで支えて頂いた皆様のおかげです」と受章の喜びを語りました。

おめでとうございます。

～農産加工活動に尽力～ 農山漁村女性活動功労者表彰



本市生活研究グループの田淵ヨシ子さん（中組）が、11月21日に県庁で開催された「平成29年度農山漁村女性活動功労者表彰」の組織活動部門において表彰されました。

田淵さんは、長年地域のリーダーとして、地域産物を活用した商品開発や、農産加工指導に携わり、農産物の消費拡大や理解促進に貢献してきました。田淵さんは「若い方たちに農産加工技術を伝承していくことが生きがい。まだまだ元気に頑張りたい」と受賞の喜びを話しました。

おめでとうございます。

二人三脚で営んできた農業に 緑白綬有功章



木場俊行・由美子さん夫妻（崎野）が、11月15日、「緑白綬有功章」を受章しました。

この章は、長年にわたり、農業における新しい技術や経営の改善に挑戦し、地域リーダーとして、技術の導入・普及だけでなく、青年農業者の育成に大きな貢献をした農業者へ、大日本農会から贈られるもので、木場夫妻は、イチゴ栽培で天敵を活用した減農薬の栽培技術を確立したり、研究生受け入れのほか、農業の担い手の育成に貢献したことなど、数多くの功績が認められたものです。

おめでとうございます。

スポーツ推進委員功労者表彰



11月9日、茨城県で開催された全国スポーツ推進委員研究協議会で3名の方が表彰されました。

- ・「文部科学大臣表彰」…尾辻勝子さん（本浦）（写真中央）
- ・「功労者表彰」……………岩村光雄さん（荒川）（右）
- ・「30年勤続感謝状」………原口俊昭さん（川南）（左）

文部科学大臣表彰を受賞した尾辻さんは、今年3月までスポーツ推進委員として38年の長きにわたり社会体育推進に貢献し、地域の活性化やスポーツの普及に取り組んできました。

また、岩村さんは32年、原口さんは30年、現在も積極的にスポーツ推進委員として活動しており、スポーツ庁の全国スポーツ推進委員連合から表彰されたものです。

おめでとうございます。

俳句と作文で入賞相次ぐ

- 第19回南九州市かわなべ青の俳句大会
(南九州市・南日本新聞社等主催 応募数13万2,391句)
- ・福永耕二賞(最高賞)
関 こまちさん(市来農芸高校3年)



名と呼ばば遠づく牛の涼しさよ

受賞した句は、学校で牛を世話をしているとき、名前を呼んだらお気に入りの牛が初めて寄ってきた時の気持ちを詠んだ句。うれしくて夏の暑さを忘れたのを「涼しさよ」と詠んだ。

毎年多くの入賞者を出す市来農芸高校ですが、最高賞の福永耕二賞は関さんが初めて。関さんは、受賞の知らせを聞いた時は実感はなく、表彰式の舞台上で中央に座らされたとき「大変な賞をとった」と実感したそうです。

また、市来農芸高校は学校賞を受賞し、7年連続13回目の受賞となります。

- 第37回全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会
(県地方法務局等主催 応募数1万4,981点)
- 最優秀賞 森 秋乃さん(市来中学校3年)



「あなたの味方だから」

辛い時に友人の一言で救われた経験から、過去の自分の行動を見つめ直し、自分も人に勇気を与えられる人でありたいといういじめ問題について考えた作文

- 第4回(全国)こども作文コンクール
(読売新聞社主催 応募数5,965点)
- 佳作 吉永 愛さん(神村学園初等部6年)



「かっこよくて優しい自慢の母」

母親は働いていて忙しい。その姿はかっこいいが、子としては時には寂しさも感じている。大好きな母親への感謝を表した作文。

理科に関する研究記録展3名が入賞

予校理科教育研究協議会 共催 鹿児島県教育委員会



第65回鹿児島県理科に関する研究記録展で特選以上に次の3名が入賞しました。

- 県教育委員会賞
岡留有香(川上小6年)(写真右)
「有香オリジナルエチケットぶくろの研究開発」
種子島へ行く高速船に乗る前に、お母さんから渡されたおむつが入ったエチケット袋に興味をもち、オリジナルのエチケット袋を作ってみようと考えたそうです。
- 特選
・井手上菜音(串木野小4年)(写真真中)
・桃北光基(市来小5年)(写真左)

100歳おめでとうございます

柳園チエさん(酔之尾)が11月15日に、また、池之上スミさん(鍋楠)が11月20日に、100歳の誕生日を迎えました。

お二人には、市からお祝いの生花や記念品が贈られました。現在、本市の100歳以上の方は28名です。いつまでもお元気で長生きしてください。



(柳園チエさん)



(池之上スミさん)



県勢初 九州大会準優勝 串木野Wピース



ドッジボールチーム「串木野Wピース」は11月19日、福岡県で開催されたイーストカップチャンピオンシップ大会で準優勝を飾りました。同大会は夏の予選大会を勝ち抜いた上位チームに九州・西日本各地の強豪チームが参加し、全32チームで競う九州最大の大会です。

Wピースは夏予選をベスト8で勝ち抜き出場権を獲得。19日の試合では固い守備力と、ボールキープ率を高める堅実な試合運びで決勝に進出したものの、惜しくも準優勝に終わりました。

また、前日の18日にあった県の秋季大会でWピースは初優勝。2日続けての快挙に選手・監督は大喜びでした。なお、秋季大会では照島小学校を活動拠点としている「照島海憧」チームは準優勝でいちき串木野のチームが1、2位を独占しました。

陸上フェスタ100m優勝



羽島小3年の楮山仁智くんがKKB小学生陸上フェスタ2017において、100mの部で優勝しました。楮山くんは、1年時の同大会でも優勝していましたが、昨年は2位。今年はリベンジを果たしました。

現在は、ソフトボールとの二刀流で練習しており、「5年生以上が出場できる2年後の全国大会に出場することが目標」と抱負を語りました。

大会結果

●第12回市地区対抗駅伝競走大会



11月26日、串木野新港周回コースで、第12回市地区対抗駅伝競走大会が開催され、参加した選手たちが、雨の中一本のタスキを懸命につなぎました。

15チーム、12区間で競われた今大会は、照島地区が優勝を飾り、準優勝生福地区、3位湊地区の順でした。前回のタイムを最も多く短縮した躍進賞は旭地区でした。

・区間賞（敬称略）

区 間	氏 名	タイム
1区(中学男子)	大六野光槻(生福)	4'49(区間新)
2区(小学男子)	鳥越 海里(照島)	3'27
3区(一般男子)	永田宏一郎(上名)	4'41(区間新)
4区(一般女子)	有馬 桃寧(生福)	3'35
5区(中学男子)	佐藤 宏海(生福)	5'20
(中学男子)	川口 恭平(羽島)	5'20
6区(小学女子)	楮山 世來(羽島)	3'39
7区(10歳代)	中蘭 映児(野平)	4'49
8区(小学女子)	小島 愛莉(中央)	3'50
9区(中学女子)	坂元 茉歩(中央)	5'49
10区(小学男子)	勝田 聖也(照島)	3'18(区間新)
11区(一般男子)	須崎 健大(照島)	4'52(区間タイ)
12区(一般男子40歳以上)	洲上 智育(湊)	3'09



優勝した照島地区チーム

●第10回さのさ銃剣道大会



- ・優 勝 川薩チーム
- ・準優勝 いちき串木野チーム
- ・第3位 国分中央B・日吉

銃剣道…相対する2人が防具を装着し、「木銃」と呼ばれる銃をかたどった木製の棒で突き合って勝敗を争う競技。有効な攻撃は突き技のみ。国体の正式競技。

●第22回B & G杯少年柔道錬成大会

2回 少年柔道錬成大会



中学生の部で優勝した忠氣道場

- ・小学生の部 17チーム (114人)
 - 優勝 坊津学園
 - 準優勝 出水柔道
 - 第3位 加世田柔道・かわなべ学園
- ・中学生の部 14チーム (78人)
 - 優勝 忠氣道場
 - 準優勝 川内中央中学校
 - 第3位 谷山中学校・枕崎中学校
- ・同女子の部 10チーム (31人)
 - 優勝 吉野中学校
 - 準優勝 三笠柔道
 - 第3位 重富中学校

●第43回シーサイドソフトテニス大会



小学生から一般まで計56ペアが参加

【一般の部】

- 優勝 山下・石元組 (TEAM海童)
- 準優勝 村尾・泉組 (神村学園高等部教諭)
- 第3位 外園・田丸組 (串西中OB)
- 瀬戸口・渦山組 (超平和バスターズ)

【女子の部】

- 優勝 樫八重・川口組 (楓小娘)
- 準優勝 谷口・森山組 (神村学園高等部)
- 第3位 大石・山口組 (神村学園高等部)
- 田丸・中塚組 (一喜・串西中教諭)

●第36回秋季親善グラウンドゴルフ大会



34チーム参加

- ・団体の部 優勝 市来 緑
準優勝 市来 太陽
第3位 いちきコスモス
- ・個人の部 優勝 浅谷 公郎
準優勝 平石 鉄男
第3位 榎木蘭勝子

●平成29年度いちき串木野市スポーツ少年団本部旗争奪ソフトボール大会



- ・優勝 汐見ソフトボールスポーツ少年団
- ・準優勝 若鷺ソフトボールスポーツ少年団

●第54回市内バドミントン大会

104名が参加

各クラス優勝者

【男子】

- ・初級ダブルス 上酔尾俊廣・猪之鼻瑞紀
- ・中級ダブルス 梶村 海斗・大河内 誠
- ・上級ダブルス 田中 玲隠・原口 小巻

【女子】

- ・初級ダブルス 井手莉里花・中村 梨乃
- ・中級ダブルス 坂本 杏実・岡部 和奏

【混合】

- ・初級ダブルス 柴田 雅己・柴田 奈緒
- ・中級ダブルス 前屋 研仁・三輪 優夏
- ・上級ダブルス 豎山 祐三・永野 雅子

明治維新 150 周年
(2018 年) カウントダウン

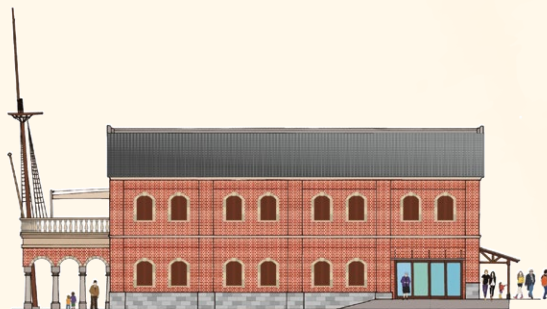
薩摩と スチューデント 明治維新

第 22 回

ロンドン生活

スコットランド・アバディーンでの生活 長沢鼎

薩摩藩英国留学生記念館 (☎35-1865)



SATSUMA STUDENTS MUSEUM will establish by ICHIKI KUSHIKINO CITY
Produce & Design by Koki Sunada • Ichikikushikino City 2012-2013

●グラバー家

一八六五年八月十九日、最年少の長沢鼎はロンドンの先輩たちと離れ、スコットランドのアバディーンでの生活が始まります。長沢はトーマス・グラバーの実家に寄宿し、グラバーの両親、妹のマーサ、弟のアルフレッドと共に生活します。新生活は入学前の基礎学習から始まりました。この時のことを長沢は「グラバーの所で始めは二カ月ばかり人を雇って毎日勉強し居ったが、言葉も全くわからずしばしば泣いたことがある…たった一人であつたから困った」と回想しています。

●中学校ギムナジウム

ギムナジウムは、一八四八年に開校したばかりの中学校で、教育水準は高く、語学や人文科学など古典科目を中心とした教養重視の学校でした。長沢は入学当初、個別に英語の特別訓練を受け、四か月ほど経つと、現地の少年らと同じように勉強ができるようになります。その後、めきめきと頭角を現し、初年度の課程を修了すると、地元の新聞に成績優秀者として名前が掲載されます。英文法一位、ラテン語一位など。二年目もこれと同様の成績を残します。



長沢鼎が通った中学校の校舎

成績優秀な長沢でしたが、一方では、随分面白かったです。通学途中、仲間の少年と喧嘩になると、ポケットから懐中時計を抜き取り、それを振り回して相手を打ちすえたといひます。長沢は「持っていた時計は銀時計の厚いのであつた。クサリは金で太い丈夫なもの。時計は時を見るための用事がない。全く喧嘩の時の武器であつた」「いやはや乱暴というたら今から考えると、実に驚くべきほどでな」と話しています。



英国留学時の長沢鼎

●日本人留学生のサークル誕生

一八六六年三月三十一日、アバディーンへ来て一年が経った頃、佐賀藩の石丸安世と馬渡俊邁、広島藩の野村文夫がやって来ました。彼らもグラバーが世話した密航者でした。この年の初めには長州から竹田庸次郎も到着していました。この時、野村は長沢の才能に感歎し、「英語を以て談ずる流るるが如し。英人もまた大にこれを称す。」と日記に記しています。

彼らの到着で日本人留学生のサークルが誕生すると、長沢の孤独も解消されたのです。次回、1月22日号は「ロンドン生活―フランス留学する者と帰国する者」です。

無料クーポン
30年3月31日まで



いちき串木野
明治維新150周年

使おう!!

高校生が作った
明治維新150周年
オリジナルロゴマーク

ロゴマーク制作
ドキュメントムービー



薩摩藩英国留学生記念館 観覧無料券

対象：いちき串木野市民（1枚で5人まで）
期間限定：平成30年3月31日（土）まで

※点線を切り取り、来館時にスタッフへご提示ください。



SATSUMA STUDENTS
MUSEUM